

大阪障害者職業能力開発校について

1. 科目再編推移

- 設立当初 身体障がい者を対象とした訓練
- 平成 4 年 知的障がい対象科目を開始
- 平成 21 年度 精神障がい対象科目（定員 5 名）を開始
- 平成 23 年度 発達障がい対象科目を開始
- 平成 27 年度 精神障がい科目の定員を 5 名から 10 名に変更
- 平成 30 年度 身体障がい科目の募集対象者を障がいのある方対象の科目（以下、不問科目）に変更
- 令和 5 年度 障がいのある方対象科目の訓練時間を 1556 時限から 1400 時限に変更

再編に至った経緯

平成 30 年度 募集対象者を身体障がいから障がいのある方へ変更した主な理由：

- ・法定雇用率の引き上げ（平成 26 年度、平成 30 年度）や精神障がいの方が対象に追加（平成 30 年度）されたこと
- ・不問科目に対して、身体障がい以外の障がいのある方の受講希望が増加傾向にあったこと

令和 5 年度 不問科目の訓練時間変更の主な理由：

- ・募集対象者を変更したことにより、精神・発達障がいのある方の入校者の増加と、身体障がいのある方にも重複障がいがある方が増加しつつあり、よりきめ細やかな対応が必要なため

2. 訓練科目について

■訓練科目

対 象	科 名	定員（人）	期間	訓練時限
障がいのある方 （障がい種別を問わない）	C A D 技術科	1 5	1 年	1400
	O A ビジネス科	2 0		1400
	W e b デザイン科	1 5		1400
	オフィス実践科	1 0		1400
知的障がいの方	ワークサービス科	2 5	6 か月 （4 月・10 月入校）	1324
精神障がいの方	職域開拓科	1 0 × 2 回		500
発達障がいの方	J o b チャレンジ科	5 × 2 回		570

※ 1 年制訓練の入校時期は 4 月、6 か月生訓練の入校時期は 4 月、10 月の年 2 回

1 時限は 45 分単位。行事（入校式・修了式）の 2 時限は訓練時間に含まれない

■訓練内容

科 名	訓 練 内 容
C A D技術科	機械の設計図面に関する知識や技能を習得
O Aビジネス科	事務職に必要なパソコンによる事務技能を習得
W e bデザイン科	ホームページに関する様々な知識と技能を習得
オフィス実践科	事務職・事務サポート職に必要な IT・財務・ビジネスマナー・仕事の進め方に関する知識を習得
ワークサービス科	物流・事務補助・ものづくり・清掃作業などの分野の知識や技能を習得
職域開拓科	社会生活技能訓練やビジネスマナーを通して職場適応能力を習得
J o bチャレンジ科	社会生活技能訓練やビジネスマナーを通して職場適応能力を習得

■訓練時間

1 年制訓練	
1・2 時限	9：10～10：40
休憩時間	10：40～10：45
3・4 時限	10：45～12：15
昼休み	12：15～13：15
5・6 時限	13：15～14：45
休憩時間	14：45～14：55
7・8 時限	14：55～16：25

職域開拓科（精神）	
1～3 時限	10：00～12：15
昼休み	12：15～13：15
4・5 時限	13：15～14：45
休憩時間	14：45～14：55
6 時限	14：55～15：40

Job チャレンジ科（発達）	
1・2 時限	9：30～11：00
3・4 時限	11：00～12：30
昼休み	12：30～13：30
5・6 時限	13：30～15：00
休憩時間	15：00～15：15
7 時限	15：15～16：00

不問科目と知的障がい対象科目（1年制）は9時10分から16時25分までの1日8時限授業です。精神・発達科目は満員電車が苦手な訓練生に配慮するため、ラッシュアワーを避ける時間で実施しております。また、職域開拓科（精神）については訓練生の負担軽減もあり1日の訓練時間を6時限としています。Job チャレンジ科（発達）では、食堂での昼食時に他の訓練生の視線や喧騒が苦手な方もいることから昼休みを少しずらしております。

3. 近年の実績について

○応募者数について【資料-1】

平成 30 年度に不問科目を実施したが、令和 3 年度以降減少傾向に転じています。その他の科目については大きな変更は見られません。

○入校者数について【資料-2】

不問科目について、令和 5 年度までは入校辞退で定員割れの科目があるものの概ね定員充足できていました。しかし、令和 6 年度では 2 科目で定員割れが発生しています。知的・発達科目については概ね定員充足できています。対して、精神科目は 4 月入校では募集定員近くの入校者数があるものの、10 月入校ではほぼ定員充足できていない状態が続いています。

○就職率について【資料-2】

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、66.7%になりました。翌令和 3 年度に一旦 73.2%まで上昇したが、再び減少し、70%を少し上回っている状況となっています。

平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
79.0%	77.9%	70.3%	66.7%	73.2%	66.4%	71.2%

上記は、国の算定方法に基づいています。（就職率＝就職者数／入校者数）

なお、国と大阪府で就職率の算定方法が異なっているため、【資料 - 2】に記載する大阪府の公表数値とは異なる値となっています。

○障がい種別入校状況【資料-3】

不問科目の入校状況について、令和 3 年度以外は身体障がいの方の入校は 40%程度となり、残りの大部分は精神・発達障がいのある方が占めています。また、一定数、知的障がいのある方も入校されています。

重複障がいの入校状況については、入校願書に記載されている内容の把握にとどまっており、実態はもう少し多く在籍していると思われます。

4. 受講者確保に向けた取組みについて（訓練内容の見直しについて）

○オープンキャンパス〔入校見学会〕（令和 6 年度実績）

令和 6 年度実績	実施回数	参加者数
不問科目	28 回	136 名
知的障がい科目	22 回	70 名
精神障がい科目	16 回	19 名
発達障がい科目	9 回	18 名
その他（HW 職員・関係職員）	4 回	22 名
合 計	79 回	265 名

○その他の広報（令和6年度実績）

「レッツトライ（職業訓練ガイド冊子）」、「生徒募集案内冊子」を郵送	・ハローワーク 大阪府内(27)、近隣府県(36) ・市町村教委育委員会関係(43) ・市町村障害福祉主管課(43) ・精神保健相談関係部局(53) ・学校関係 高等学校(269)、支援学校(51) ・障がい者就業・生活支援センター等(58) ・府市町村社会福祉協議会(44) ・障がい者相談支援センター（大阪市各区）(24) ・大阪府内図書館(165) など全 1081 か所へ郵送
関係機関へ出向き訓練内容の説明及び入校勧奨を実施	・大阪府内ハローワーク（全 16 か所） ・障がい者就業・生活支援センター（全 23 か所） ・堺市基幹相談支援センター（7 か所）
支援学校関係	・支援学校校長会で周知★ ・支援学校進路指導部会での広報 ・主要な支援学校（9 校）へ出向き広報 ・ブロック進路指導関係機関連絡会（3 か所） ・支援学校開催の福祉サービス事業所合同説明会へ参加（2 か所）★ ・支援学校職員に向けての職業訓練についての研修・広報★
「商工労働部」「福祉部」「教育庁」が連携し、【3 部局連携会議】を実施	・担当職員の勉強会（職業訓練や福祉制度の勉強など）での障害者校の見学を実施
イベント関係	・大阪市内の 2 か所で障がいのある方向けの職業訓練合同説明会を年 4 回の実施 ・ハローワーク専門援助部門担当者向けに施設見学会及び生徒募集説明会を実施（年 2 回）

今年度特に取り組んだ事項

広報関係について、今年度は校パンフレットを応募者の手に取りやすい雰囲気刷新しました。

今年度新たに取り組んだ活動(上記の★印)

- ・支援学校校長会での周知は、本庁の人材育成課職員が出席しオープンキャンパスへの誘導などの依頼を行うとともに、担当教員への周知を依頼しました。福祉サービス事業所合同説明会と支援学校職員の研修などは、即効性を期待するものではなく、ターゲットは支援学校 1 年及び 2 年生に向けたものです。
- ・年間で一番重きを置いているのは、各ハローワーク、障がい者就業・生活支援センター、基幹相談支援センターに対する広報で、可能な限り管理職ではなく、現場の指導員が出向き訓練内容や訓練生の状況などを交えて広報活動するようにしています。

- ・ 今後は、上記に加え特別支援学校の小学部、中学部の職員・保護者の見学会などを行い、社会資源の一部としての認知度を高めるべく中・長期的なスパンでの広報活動なども検討しています。

5. 個別対応にかかる状況について（指導員等の体制について）

大阪府では、1科目に複数名の職業訓練指導員（常勤）を配置しています。

訓練は、対象とする障がい種別に応じて5名から25名の間で科目ごとに定員を設定し、集合訓練で進めております。

訓練生の体調が悪くなった場合など緊急での個別対応はするものの、訓練自体は集合訓練で行うこととしております。

主な職員配置は以下の通り

- ・ 訓練指導課長（指導員職） 1名
- ・ 訓練支援担当課長（福祉職） 1名
- ・ 各科 職業訓練指導員 1名～4名（科目による）
年度任用非常勤職員 各科2名～4名（科目による）
- ・ 手話通訳者 年度任用非常勤講師 3名
- ・ 職業相談員（職場開拓） 年度任用非常勤職員 1名
- ・ 職場定着員 年度任用非常勤職員 3名
- ・ 看護師 年度任用非常勤職員 1名
- ・ 精神保健相談員 年度任用非常勤職員 1名
- ・ ケースワーカー 年度任用非常勤職員 1名

職名 区分	校 長	副 校 長	総務課長	総 務 課				訓練支援担当課長	訓練指導課長	訓練指導課				指導援助担当			
				主 査	副 主 査	主 事	主 査			副 主 査	技 師	主 査					
事務	1		1	1	1	1											5
技術		1						1	1	5	4	6		2			20
非常勤職員							3						11			9	23
計	1	1	1	1	1	1	3	1	1	5	4	6	11	2	0	9	48

訓練生には様々な障がい特性があることから、障がいの種別を問わない科目を中心にケースワーカーが巡回を行い、調子の悪い訓練生に声掛けを行っています。担当科職員だけで対応が困難な場合は、訓練支援担当課長、ケースワーカーといった福祉職のノウハウも活用しながら対応策を検討・実施しています。精神保健相談員（PSW）による個別相談も実施しています。

また、精神障がい科目及び発達障がい科目では毎日朝礼と終礼を実施し、一人ずつ睡眠時間・服薬状況・健康状態などを発表します。朝礼は担当科職員の他、訓練支援担当課長、精神保健相談員、ケースワーカー、看護師、職場定着員も出席し、生徒の健康状態を把握・共有しています。

6. 訓練生の受講前（入校前）の属性【資料-4】

本校では、定員が多く、かつ新規高卒者が比較的多いというワークサービス科(知的)のみ属性を集計しています。令和2年度から令和6年度のワークサービス科入校生全体で見た場合、約65%が新規高校卒業者です。その内訳は、支援学校からが多く、次いで普通高校・専修学校等となっております。

7. 入校時の年齢【資料-5】

特色としては、ワークサービス科（知的）では60%～70%程度が10代で残りの大部分が20代で占めています。また職域開拓科（精神）では20代から50代の方が入校されているのに対して、Jobチャレンジ科（発達）では20代から30代の方が大部分を占めています。

8. 定着支援

就職後1か月から3か月にかけて、職業相談員や職場定着員が職場を訪問し、就労状況を確認し、必要に応じ定着支援を行います。

修了生や企業が、定着支援を希望する場合は、継続して行います。（原則3年）

	修了生数(人)	被定着支援希望者数(人)	定着支援延べ件数(件)	定着率(%)
平成30年度	80	54	243	90.7
令和元年度	87	55	226	92.7
令和2年度	91	48	200	89.6
令和3年度	85	51	175	86.3
令和4年度	89	59	220	93.2

※平成30年度から令和3年度までは修了後3年、令和4年度は令和6年9月末までの定着率

9. 就職について【資料-6】

職種は事務職・事務補助職が多数を占めています。次いで作業・軽作業となっています。作業の内容では倉庫内でのピッキング作業や工場内での作業などが占めています。軽作業は就労継続A型作業所などでの作業などとなっています。

課長代理、グループ長、リーダーとして活躍し、数十人の部下の業務管理を行い活躍している修了生もいます。

10. 在職者訓練〔テクノ講座〕に係る実績について

在職者訓練は年間 14 講座で実施しています。

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
計画講座数	14	14	14	14	14
開講講座数	11	11	13	13	14
定員	90	90	90	90	90
受講者数	56	48	63	57	68
修了者数	48	43	60	54	60
受講率	62. 2%	53. 3%	70. 0%	63. 3%	75. 6%
修了率	85. 7%	89. 6%	95. 2%	94. 7%	88. 2%

■令和 6 年度実施の講座

分野	講座名	定員	期間	時間
オフィス系	オフィス入門	7 名	3 日	15 時間
	表計算データ活用基礎	7 名	3 日	15 時間
	表計算データ活用応用	7 名	3 日	15 時間
	表計算ソフトマクロ VBA 基礎	7 名	3 日	15 時間
	表計算ソフトマクロ VBA 応用	7 名	3 日	15 時間
	プレゼンテーションソフト基礎	7 名	3 日	15 時間
	データベースソフト基礎	7 名	3 日	15 時間
	データベースソフト応用	7 名	3 日	15 時間
	データベースソフトマクロ基礎	7 名	3 日	15 時間
CAD 系	機械 C A D 基礎	5 名	3 日	15 時間
	三次元 C A D 基礎	5 名	3 日	15 時間
情報系	プログラミング基礎	5 名	3 日	15 時間
その他	ネットで注目！商品写真の撮影と編集	5 名	3 日	15 時間

コロナ禍の R3 年度以外、受講者数は同程度で推移しております。令和 2 年度～令和 6 年度においては、応募者数が少なかったため、開講しなかった講座がありました。

その他の講座の詳細は【資料 7～9】

◎大阪障害者職業能力開発校【資料】

※「不問」の4科目についてH29までは身体障がい対象科目。H30以降は障がいのある方対象科目。
知的障がい科目のR3及びR4はコロナ感染症対策のために一時的に定員を25名から30名に変更。

■応募者数

種別	科目名	入校月	募集定員		応募者数							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D技術	4月	20	15	19	25	32	27	28	24	22	20
	〇 A ビジネス	4月	20	20	31	27	33	26	30	25	27	19
	Webデザイン	4月	20	15	23	30	38	31	39	25	24	16
	オフィス実践	4月	10	10	13	13	14	12	17	18	13	10
知的	ワークサービス	4月	30	25	30	39	34	30	41	36	30	30
精神	職域開拓	4月	10	10	16	11	11	16	16	12	11	7
		10月	10	10	13	17	9	10	9	9	7	10
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	11	9	12	5	7	11	10	3
		10月	5	5	8	12	7	8	6	9	5	6
	合 計		130	115	164	183	190	165	193	169	149	121

■合格者数

種別	科目名	入校月	募集定員		合格者数							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D技術	4月	20	15	11	16	15	15	18	16	16	16
	○ A ビジネス	4月	20	20	15	20	22	20	20	20	21	16
	Webデザイン	4月	20	15	15	15	15	15	16	15	16	15
	オフィス実践	4月	10	10	10	10	11	10	10	11	11	9
知的	ワークサービス	4月	30	25	24	25	26	25	31	32	25	26
精神	職域開拓	4月	10	10	10	10	10	11	11	10	10	7
		10月	10	10	10	10	8	9	6	9	6	9
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	5	5	5	5	5	6	5	3
		10月	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	合 計		130	115	105	116	117	115	122	124	115	106

■入校者数

種別	科目名	入校月	募集定員		入校者数							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D技術	4月	20	15	10	15	15	15	14	15	15	15
	○ A ビジネス	4月	20	20	15	20	20	20	20	18	20	15
	Webデザイン	4月	20	15	14	15	15	15	15	15	15	15
	オフィス実践	4月	10	10	10	10	10	9	10	10	10	6
知的	ワークサービス	4月	30	25	21	25	25	25	30	30	25	25
精神	職域開拓	4月	10	10	10	8	10	10	9	10	10	6
		10月	10	10	10	10	6	7	4	8	6	9
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3
		10月	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	合 計		130	115	100	113	111	111	112	116	111	99

※R3～R4のワークサービス科の募集定員は30名で実施しております。

■修了者数

種別	科目名	入校月	募集定員		修了者数							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D技術	4月	20	15	6	10	11	13	5	9	11	-
	O Aビジネス	4月	20	20	9	6	12	15	12	13	15	-
	Webデザイン	4月	20	15	7	14	9	12	13	6	12	-
	オフィス実践	4月	10	10	8	7	9	6	9	8	6	-
知的	ワークサービス	4月	30	25	17	19	21	22	26	28	14	-
精神	職域開拓	4月	10	10	7	5	10	8	7	8	9	6
		10月	10	10	9	9	6	5	4	7	6	-
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	5	5	5	5	4	5	4	1
		10月	5	5	5	5	4	5	5	5	5	-
	合 計		130	115	73	80	87	91	85	89	82	-

■就職者数(修了3か月後)

種別	科目名	入校月	募集定員		就職者数							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D技術	4月	20	15	7	15	10	10	9	6	10	-
	O Aビジネス	4月	20	20	11	15	18	16	14	14	12	-
	Webデザイン	4月	20	15	12	11	9	7	10	7	11	-
	オフィス実践	4月	10	10	7	5	2	7	8	9	7	-
知的	ワークサービス	4月	30	25	17	20	19	24	26	22	22	-
精神	職域開拓	4月	10	10	8	5	8	4	4	7	8	4
		10月	10	10	10	7	5	3	4	6	5	-
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	3	5	5	2	2	3	1	3
		10月	5	5	4	5	2	1	5	3	3	-
	合 計		130	115	79	88	78	74	82	77	79	

■就職による中途退校者数

種別	科目名	入校月	募集定員		就職退校者数							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D 技術	4月	20	15	1	5	4	1	6	1	2	0
	〇 A ビジネス	4月	20	20	3	11	7	5	4	4	3	0
	Webデザイン	4月	20	15	5	0	2	0	1	2	1	0
	オフィス実践	4月	10	10	2	0	0	2	1	2	3	0
知的	ワークサービス	4月	30	25	2	2	1	3	4	1	10	0
精神	職域開拓	4月	10	10	2	1	0	0	0	1	0	0
		10月	10	10	1	0	0	0	0	0	0	0
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
		10月	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	130	115	16	19	14	11	16	11	19	0

■就職率

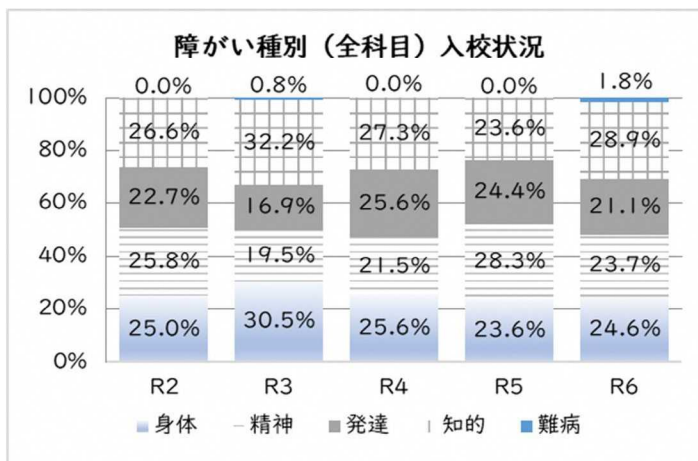
種別	科目名	入校月	募集定員		就職率							
			H29	H30～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
不問	C A D技術	4月	20	15	100.0%	100.0%	66.7%	71.4%	81.8%	60.0%	76.9%	－
	O Aビジネス	4月	20	20	91.7%	88.2%	94.7%	80.0%	87.5%	82.4%	66.7%	－
	Webデザイン	4月	20	15	100.0%	78.6%	81.8%	58.3%	71.4%	87.5%	84.6%	－
	オフィス実践	4月	10	10	70.0%	71.4%	22.2%	87.5%	88.9%	90.0%	77.8%	－
知的	ワークサービス	4月	30	25	89.5%	95.2%	86.4%	96.0%	96.3%	75.9%	91.7%	－
精神	職域開拓	4月	10	10	88.9%	83.3%	80.0%	50.0%	66.7%	77.8%	88.9%	66.7%
		10月	10	10	100.0%	77.8%	83.3%	60.0%	100.0%	85.7%	83.3%	－
発達	Jobチャレンジ	4月	5	5	60.0%	100.0%	100.0%	40.0%	66.7%	60.0%	25.0%	100.0%
		10月	5	5	80.0%	100.0%	50.0%	20.0%	100.0%	60.0%	60.0%	－
	合 計		130	115	88.8%	88.9%	77.2%	72.5%	86.3%	77.0%	78.2%	－

※就職率＝(3か月後就職者数＋就職中退者数)÷(修了者数＋就職中退者数－進学者数)【大阪府算定】

■障がい種別入校状況

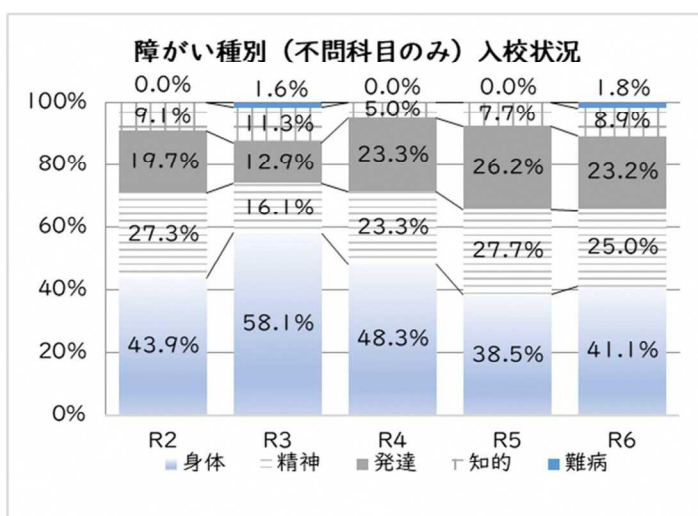
障がい種別（全科目）入校状況					
	R2	R3	R4	R5	R6
身体	32名	36名	31名	30名	28名
精神	33名	23名	26名	36名	27名
発達	29名	20名	31名	31名	24名
知的	34名	38名	33名	30名	33名
難病	0名	1名	0名	0名	2名
合計	128名	118名	121名	127名	114名

※重複障がいを含む



障がい種別（不問科目）入校状況					
	R2	R3	R4	R5	R6
身体	29名	36名	29名	25名	23名
精神	18名	10名	14名	18名	14名
発達	13名	8名	14名	17名	13名
知的	6名	7名	3名	5名	5名
難病	0名	1名	0名	0名	1名
合計	66名	62名	60名	65名	56名

※重複障がいを含む



重複障がい（全科目）入校状況					
	R2	R3	R4	R5	R6
身体+精神	1名	1名		2名	1名
身体+発達				1名	
身体+知的	2名	2名	2名	3名	1名
精神+発達	4名	1名		1名	
精神+知的	2名	2名		1名	2名
発達+知的	2名		1名	1名	1名
身体+精神+知的					1名
知的+難病					1名
合計	11名	6名	3名	9名	7名

※入校願書に記載していた重複障がいの訓練生のみ

■ワークサービス科（知的）の最終学歴

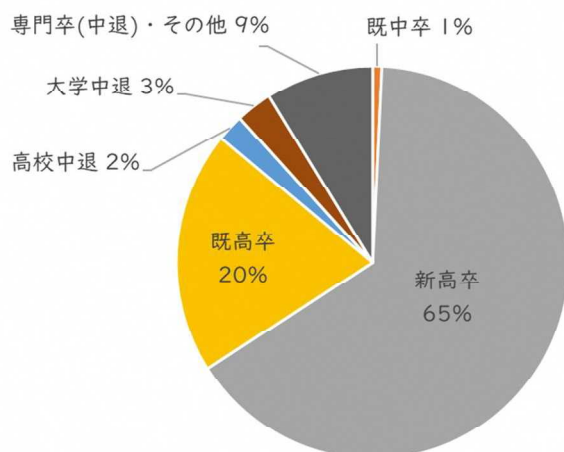
○ワークサービス科（全体）

学歴	ワークサービス科					合計
	R2	R3	R4	R5	R6	
新中卒	0	0	0	0	0	0
既中卒	0	0	0	0	1	1
新高卒	15	16	19	20	18	88
既高卒	9	5	7	3	3	27
高校中退	0	0	2	1	0	3
新大卒	0	0	0	0	0	0
既大卒	0	0	0	0	0	0
大学中退	0	3	0	0	1	4
専門卒（中退）・その他	1	6	2	1	2	12

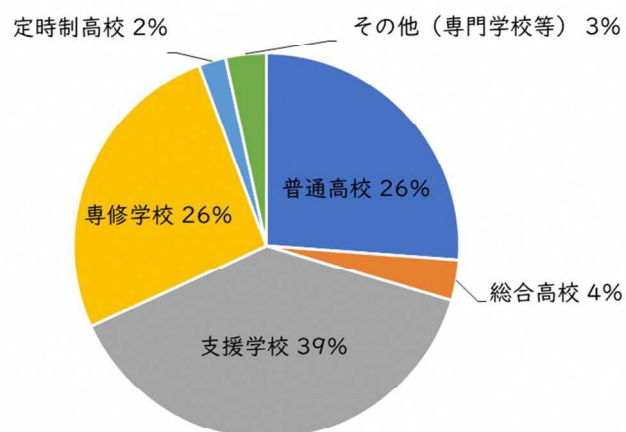
○ワークサービス科（新高卒）

学歴	ワークサービス科 新高卒					合計
	R2	R3	R4	R5	R6	
普通高校	5	4	2	5	7	23名
総合高校	0	1	1	0	1	3名
支援学校	3	5	9	11	6	34名
専修学校	7	5	5	3	3	23名
通信・定時制高校	0	0	0	1	1	2名
その他（専門学校等）	0	1	2	0	0	3名

ワークサービス科（全体） 入校生



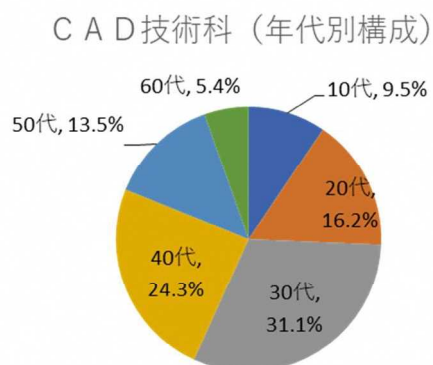
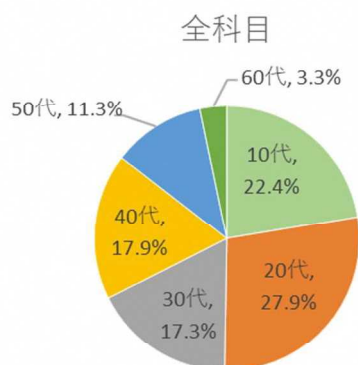
ワークサービス科（新高卒等のみ） 入校生



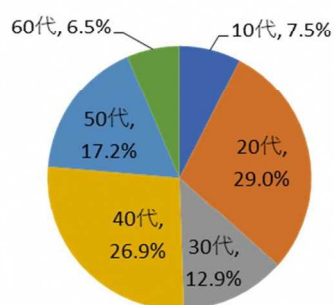
令和2年度から令和6年度までの合計

■年代別（入校時）

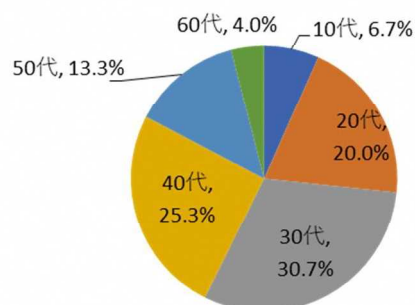
令和2年から令和6年までの構成



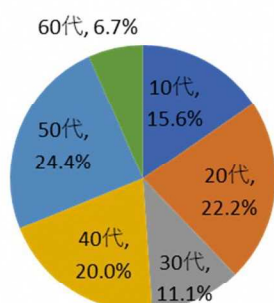
OAビジネス科（年代別構成）



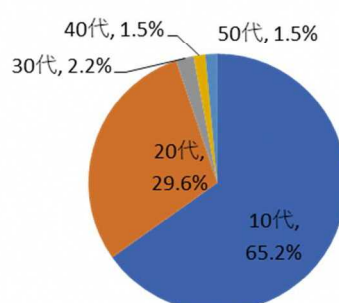
Webデザイン科（年代別構成）



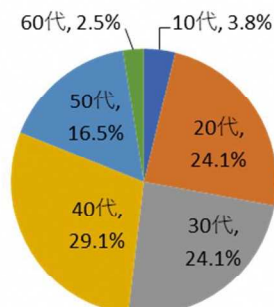
オフィス実践科（年代別構成）



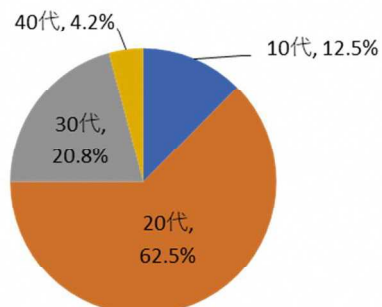
ワークスペース科（年代別構成）



職域開拓科（年代別構成）



Jobチャレンジ科（年代別構成）



■就職関連

○業種別

業 種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
サービス業	29	27	34	31	121
公務・公共サービス	13	18	10	10	51
製造業	6	12	6	14	38
情報通信業	4	5	9	4	22
運輸・物流業	7	6	3	3	19
金融業	5	4	6	4	19
小売業	5	5	2	3	15
エネルギー業	3	1	5	2	11
建設業	2	2		4	8
卸売業			1	2	3
農林水産業		2	1		3
不動産業				2	2
合 計	74	82	77	79	312

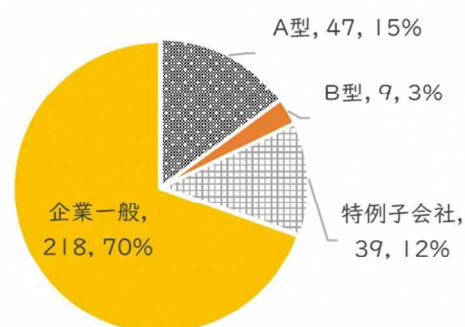
○職種別

職 種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	総計
事務	30	19	27	22	98
事務補助	9	22	15	17	63
作業	6	22	14	13	55
軽作業	13	3	8	6	30
清掃	6	7	5	7	25
デザイナー	2	2	1	4	9
サービス・接客	3	1	1	2	7
医療・福祉	1	2	2	2	7
CADオペレーター	1	1	1	2	5
技術・設計		1		4	5
製造	2		1		3
プログラマー		1	1		2
その他	1				1
営業			1		1
品質管理		1			1
総 計	74	82	77	79	312

○就職先分類

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
A型	12	5	16	14	47
B型	0	0	6	3	9
特例子会社	11	7	8	13	39
一般企業	51	71	47	49	218
合 計	74	83	77	79	313

就職先分類



■在職者訓練（テクノ講座）実施状況

令和２年度 テクノ講座実施状況

コース名	定員	日数	時間数	受講者数	受講者の企業規模						修了者数
					1～29人	30～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1000人以上	
簿記の基礎	5	3	15	-							-
ホームページ設計と制作基礎	5	3	15	-							-
オフィスソフト入門	6	3	15	3		1				2	3
３ＤＣＡＤ初級	6	3	15	-							-
表計算ソフト基礎	7	3	15	5	2					3	5
会計ソフト入門	7	3	15	1						1	1
表計算ソフト関数テクニック	8	3	15	8					1	7	6
JW-CAD初級	8	3	15	4	1	1			1	1	4
表計算ソフトマクロVBA初級	9	3	15	7	1	1	1	1	1	2	6
プレゼンテーションソフト実践	9	3	15	6	3				1	2	6
表計算ソフト実践	11	3	15	6	2					4	5
イラストレーター初級	11	3	15	7	2	1			1	3	6
表計算ソフトマクロVBA中級	12	3	15	6	1	1	1	1		2	5
３ＤＣＡＤ中級	12	3	15	3					2	1	1
計	116			56	12	5	2	2	7	28	48

令和３年度 テクノ講座実施状況

コース名	定員	日数	時間数	受講者数	受講者の企業規模						修了者数
					1～29人	30～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1000人以上	
簿記の基礎	5	3	15	5	2	1				2	5
ホームページ設計と制作基礎	7	3	15	2	1					1	2
オフィスソフト入門	7	3	15	7	1	1			1	4	7
３ＤＣＡＤ初級	5	3	15	-							
表計算ソフト基礎	7	3	15	3	1	1				1	3
Access 2019 データベースソフト活用	7	3	15	4	1	1				2	4
表計算ソフト関数テクニック	7	3	15	5	3	1				1	3
JW-CAD初級	5	3	15	-							
表計算ソフトマクロVBA初級	7	3	15	6	1	1				4	5
プレゼンテーションソフト実践	7	3	15	3	2					1	3
表計算ソフト実践	7	3	15	4	1	1				2	3
イラストレーター初級	7	3	15	5	3				1	1	4
表計算ソフトマクロVBA中級	7	3	15	4	1	1				2	4
３ＤＣＡＤ中級	5	3	15	-							
計	90			48	17	8	0	0	2	21	43

令和４年度 テクノ講座実施状況

コ ー ス 名	定 員	日 数	時 間 数	受講者数	受講者の企業規模						修了者数
					1～29人	30～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1000人以上	
プレゼンテーションソフト基礎	7	3	15	5	2	1				2	4
パソコン操作実践	7	3	15	-							
表計算ソフト実践	7	3	15	4	1				1	2	4
機械C A D基礎	5	3	15	3		1			1	1	3
表計算ソフト関数テクニック	7	3	15	5	1			1	1	2	5
データベースソフト基礎	7	3	15	5			1		3	1	5
データベースソフト実践	7	3	15	5	1		1		1	2	5
ホームページ設計と制作基礎	7	3	15	4	1	2				1	4
三次元C A D基礎	5	3	15	2	1					1	2
表計算ソフトマクロVBA基礎	7	3	15	7	1	1	2		2	1	7
画像編集ソフト基礎	7	3	15	5		1	1		1	2	4
表計算ソフトマクロVBA実践	7	3	15	6	1	1	1		2	1	6
データベースソフトマクロ基礎	7	3	15	7		1		1	1	4	6
プログラミング基礎	5	3	15	5	1	1	1	1	1		5
計	92			63	10	9	7	3	14	20	60

令和５年度 テクノ講座実施状況

コ ー ス 名	定 員	日 数	時 間 数	受講者数	受講者の企業規模						修了者数
					1～29人	30～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1000人以上	
プレゼンテーションソフト基礎	7	3	15	3		1				2	3
パソコン操作実践	7	3	15	4	3		1				4
表計算ソフト実践	7	3	15	4	1		1			2	4
機械C A D基礎	5	3	15	4	1			1		2	3
表計算ソフト関数テクニック	7	3	15	4				1		3	4
データベースソフト基礎	7	3	15	6	1		4			1	6
データベースソフト実践	7	3	15	5	1		2			2	5
インターネットの活用とモラル	5	3	15	4	1	1	1			1	2
三次元C A D基礎	5	3	15	3	1		1			1	3
表計算ソフトマクロVBA基礎	7	3	15	6	1				1	4	6
画像編集ソフト基礎	7	3	15	-							
表計算ソフトマクロVBA実践	7	3	15	5			1	1	1	2	5
データベースソフトマクロ基礎	7	3	15	5	2				1	2	5
プログラミング基礎	5	3	15	4		1			1	2	4
計	90			57	12	3	11	3	4	24	54

令和6年度 テクノ講座実施状況

コ ー ス 名	定	日	時	受講 者数	受講者の企業規模						修了 者数
			間		1～	30～	100～	300～	500～	1000	
	員	数	数		29人	99人	299人	499人	999人	人以上	
オフィス入門	7	3	15	4	2					2	3
機械C A D基礎	5	3	15	4		1				3	3
表計算データ活用基礎	7	3	15	7	1		2		1	3	4
データベースソフト基礎	7	3	15	3	1					2	3
表計算データ活用応用	7	3	15	6	1		2	1		2	5
プレゼンテーションソフト基礎	7	3	15	5	2		1			2	3
データベースソフト応用	7	3	15	4	2					2	4
ネットで注目！商品写真の撮影と編集	5	3	15	2	1					1	2
三次元C A D基礎	5	3	15	5	1			1		3	5
表計算ソフトマクロVBA基礎	7	3	15	7		4			1	2	7
広告デザイン初級	7	3	15	7			3		1	3	7
表計算ソフトマクロVBA応用	7	3	15	5	1	2	1			1	5
データベースソフトマクロ基礎	7	3	15	5			2			3	5
プログラミング基礎	5	3	15	4	1				1	2	4
計	90			68	13	7	11	2	4	31	60

(8) (3) で「②知らない」を選択された方へおたずねします。

・下表は、今年度本校で実施しているテクノ講座です。

受講希望の講座があれば、該当欄へ『○』を記入してください。また、必要でない講座があれば、該当欄へ『×』を記入してください。

	講座名	該当欄		講座名	該当欄
事務系	パソコン操作実践		製造系	機械 CAD 基礎	
	表計算ソフト関数テクニック			三次元 CAD 基礎	
	表計算ソフト実践		デザイン系	インターネットの活用とモラル	
	表計算ソフトマクロ VBA 基礎			画像編集ソフト基礎	
	表計算ソフトマクロ VBA 実践		情報系	プログラミング基礎	
	データベースソフト基礎				
	データベースソフト実践				
	データベースソフトマクロ基礎				
	プレゼンテーションソフト基礎				

(9) 今後受講してみたい講座があれば該当欄に『○』をご記入、具体的な内容やご希望もあわせてご記入してください。

	分野	該当欄	具体的な内容やご希望
製造系	CAD 関係		
事務系	Excel・Word		
	Power Point		
	Access		
	経理会計		
	資格取得 (MOS, 簿記など)		
デザイン系	Illustrator		
	Web 制作		
	PhotoShop		
情報系	プログラミング		
自由記述			

(10) 本校のテクノ講座に対し、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

(11) 貴社名とご担当者名をご記入ください。[必須]

企業名 _____

御担当者名 _____

送付数 50 企業
 回答数 30 企業
 (1) 社員の知識・技能の向上を目的に、社内外で研修を行っていますか。

(複数選択可)	企業	%
①社内研修を実施している	20	66.7%
②社外の研修機関を利用している	10	33.3%
③特にしていない	0	0.0%

(2) (1)で「①社内研修を実施している」「②社外の研修機関を利用している」を選択された方におたずねします。(P2参照)

	企業	%
①社内での研修は、どのような内容を行っていますか。	16	53.3%
②社外での研修は、どちらの研修機関及びどのような内容で行っていますか。	9	30.0%

(3) 本校で実施しているテクノ講座を御存知ですか。

	企業	%
①知っている	15	50.0%
②知らない →問(6)へ	10	33.3%

(4) (3)で「①知っている」を選択された方へおたずねします。
 ・どのような方法・経路で知りましたか。

(複数選択可)	企業	%
①インターネット	6	40.0%
②商工会議所等の支援機関	0	0.0%
③本校の職業訓練指導員等	4	26.7%
④職場の同僚・上司	2	13.3%
⑤関連企業	1	6.7%
⑥図書館、市役所等の公的機関	0	0.0%
⑦知人・友人	0	0.0%
⑧その他(次の項目で詳細を御記入ください)	2	13.3%

(5) 上記(4)「⑧その他」を選ばれた場合は、詳細を記入ください。

テクノ講座案内を送付していただいたため

(6) (3)で「②知らない」を選択された方へおたずねします。
 ・知らない理由を教えてください。

(複数選択可)	企業	%
①本校を知らない	0	0.0%
②講座内容がわからない	4	40.0%
③テクノ講座案内が届いていない	4	40.0%
④その他(下記に回答)	3	30.0%

(7) (6)「⑦その他」を選択された方

・今回初めて知りました
・当社で利用できると思っていなかった。今回講座内容が分かり、気候で受講可能と理解。
・情報収集が出来ていなかった。
・講座案内が届いていない

(9) 受講させてみたい・あればいいと思う講座内容の該当欄に『○』をご記入、具体的な内容やご希望がありましたらご記入してください。

	企業	%
CAD	4	13.3%
Excel・Word	8	26.7%
Power Point	4	13.3%
Access	3	10.0%
経理会計	1	3.3%
資格取得(MOS,簿記など)	1	3.3%
Illustrator	1	3.3%
Web制作	3	10.0%
PhotoShop	1	3.3%
プログラミング	3	10.0%

(自由記述)
 ・自己啓発として、受講を希望する従業員がいれば、情報提供したい
 ・Excel、Wordは使ううちに慣れる面があるので、基礎的なことができれば問題ないかと思います。CADは使用できる方が少ないので、勉強していただくに越したことはありません。
 ・DX関連講座

(10) 本校のテクノ講座に対し、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

・現在当社では、MicrosoftのPowerBIによるデータのビジュアル化、自動反映化やOneNote、Teamsチームを活用した情報共有化が進んでいます。今後はそのようなスキルも必要になると考えます。
・案内があるときは是非送っていただければと思います。
・休日の研修受講は自己啓発となりますので会社の研修として受講させるのは難しいです。
・機会があれば一度講座の詳細についてお伺いできればと思いますので、その節はよろしく願いいたします。
・毎年送付いただく案内をもとに、社内で紹介は行っています。関心を持った社員が自主的に利用しており、利用者の把握までは行っていません。
・現在は、Web制作やプログラミングなどの能力開発に興味があります。機会がございましたら、是非、今後ともよろしく願い申し上げます。

(2)①の回答

- ・新入社員研修、基幹職研修、品質向上研修、PDS教育研修
- ・様々な専門講座を実施、新入社員研修、人事評価研修、パソコン関係のオンライン講座
- ・Excel研修、プレゼン研修
- ・SST研修、アングーマネジメント、アサーションの勉強会
- ・新入社員研修、新任サプリーダー研修、新任役職者研修、コミュニケーション・スキルアップ研修、拠点間トレーニー
- ・パソコンスキル研修、コミュニケーション研修
- ・階層別教育で人事研修、コンプライアンス研修、人権研修、技術研修
- ・各種自己啓発プログラム、ビジネス全般基礎及び専門知識・スキル習得
- ・資格取得支援研修、階層別研修
- ・生命保険等の基礎知識・マネジメント・メンタルケア・ビジネスマナー
- ・はんだ講習、QC検定
- ・新入社員導入研修「コンプライアンス、ビジネスマナー、障がいの理解」
上位職チャレンジ研修「リーダーシップ、仕事の進め方」
- ・各種技術研修
- ・ビジネスマナー、金庫業務の職場実践研修、新任融資担当研修
- ・セキュリティ研修、DX入門、コンプライアンス研修、リスクマネジメント
- ・各種法改正事項研修、コンプライアンス研修

(2)②の回答

- ・アサーティブ・コミュニケーション研修
- ・エクセル研修・ファシリテーション研修
- ・パナソニックマーケティングスクール新入社員研修
- ・Udemy・Aidemy等のオンラインスクール
- ・大阪府の在職者訓練等で障がいに特化した訓練受講
- ・三菱UFJリサーチ＆コンサルティング、インソース
- ・ヒューマンスキル系研修
- ・投信運用会社からの研修
- ・ストレスマネジメント、ホスピタリティ

(8) (3)で「②知らない」を選ばれた方おたずねします。

・下表は、今年度本校で実施しているテクノ講座です。

受講希望に○をお願いします

	講座名	該当欄
事務系	パソコン操作実践	4
	表計算ソフト関数テクニック	4
	表計算ソフト実践	3
	表計算ソフトマクロVBA基礎	1
	表計算ソフトマクロVBA実践	1
	データベースソフト基礎	1
	データベースソフト実践	1
	データベースソフトマクロ基礎	3
	プレゼンテーションソフト基礎	1
製造系	機械CAD基礎	0
	三次元CAD基礎	0
デザイン系	インターネットの活用とモラル	0
	画像編集ソフト基礎	0
情報系	プログラミング基礎	0

本校では、在職されている障がいのある方を対象に業務上必要とされる知識・技能の向上を目的に、土曜日にテクノ講座を開催しています。(参考資料: 2024 年度版 テクノ講座案内 P35 から) つきましては、企業ニーズを踏まえ、講座の再編や新設を検討することとしています。

お答えいただいた内容は、調査目的以外に使用することはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、宜しくお願いいたします。

大阪障害者職業能力開発校 テクノ講座担当 電話:072-296-8311

FAX:072-296-8313

(1) 社員の知識・技能の向上を目的に、社内外で研修を行っていますか。

①社内で研修を実施している ②社外の研修機関を利用している ③特にしていない

(2) (1) で「①社内で研修を実施している」「②社外の研修機関を利用している」を選択された方におたずねします。

・①社内での研修は、どのような内容を行っていますか。

(記入例): OJT としてビジネスマナーなど

()

・②社外での研修は、どちらの研修機関及びどのような内容で行っていますか。

(記入例): ○○○○研修機関: パソコン基礎など

()

(3) 本校で実施しているテクノ講座を御存知ですか。

①知っている

②知らない ⇒問(6)へ

(4) (3) で「①知っている」を選択された方へおたずねします。

・どのような方法・経路で知りましたか。(複数回答可)

①インターネット

②商工会議所等の支援機関

③本校の職業訓練指導員等

④職場の同僚・上司

⑤関連企業

⑥図書館、市役所等の公的機関

⑦知人・友人

⑧その他(次の項目で詳細を御記入ください)

(5) 上記(4)「⑧その他」を選ばれた場合は、詳細を記入ください。

(記入例) ○○○関係機関など

()

(6) (3) で「②知らない」を選択された方へおたずねします。

・知らない理由を教えてください。(複数回答可)

①本校を知らない

②講座内容がわからない

③テクノ講座案内が届いていない

④その他(次の項目で詳細を記入してください)

(7) 上記(6)「④その他」を選ばれた場合は、詳細を記入してください。

(記入例) 実施場所を知らないなど

()

(8) 障がいに特化したテクノ講座の必要はありますか。

例 知的障がいの方のためのテクノ講座

①必要

②不必要

③分からない

(9) テクノ講座を受講する曜日の希望はありますか。

①平日(昼間)

②平日(夜間)

③土曜日

④日曜日

(10) 受講させてみたい・あればいいと思う講座内容の該当欄に『○』をご記入、具体的な内容やご希望がありましたらご記入してください。

	分 野	該当欄	具体的な内容やご希望
建築・設備系	CAD		
	その他		
事務系	Excel・Word		
	Power Point		
	Access		
	経理会計		
	資格取得(MOS, 簿記など)		
	その他		
デザイン系	Illustrator		
	PhotoShop		
	Web 制作		
	その他		
情報系	プログラミング		
	その他		
機械・電気系	電気工事士		
	その他		
その他	SST		
	ビジネスマナー		
自由記述			

(11) 本校にオーダーメイド講座を依頼する場合、どのような講座がよいかが記入ください。

--

(12) テクノ講座の時間数や曜日の希望があれば記入ください。

--

(13) 本校のテクノ講座に対し、ご意見・ご要望がございましたら記入ください。

--

(14) 貴社名とご担当者名をご記入ください。[必須]

企業名	
御担当者名	

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

送付数 38 企業
 回答数 9 企業
 (1) 社員の知識・技能の向上を目的に、社内外で研修を行っていますか。

(複数選択可)	企業	%
①社内で研修を実施している	9	100.0%
②社外の研修機関を利用している	2	22.2%
③特にしていない	0	0.0%

(2) (1)で「①社内で研修を実施している」「②社外の研修機関を利用している」を選択された方におたずねします。(P2参照)

	企業	%
①社内での研修は、どのような内容を行っていますか。	9	100.0%
②社外での研修は、どちらの研修機関及びどのような内容で行っていますか。	6	66.7%

(3) 本校で実施しているテクノ講座を御存知ですか。

	企業	%
①知っている	2	22.2%
②知らない ⇒問(6)へ	7	77.8%

(4) (3)で「①知っている」を選択された方へおたずねします。
 ・どのような方法・経路で知りましたか。

(複数選択可)	企業	%
①インターネット		0.0%
②商工会議所等の支援機関	1	50.0%
③本校の職業訓練指導員等	0	0.0%
④職場の同僚・上司	0	0.0%
⑤関連企業	0	0.0%
⑥図書館、市役所等の公的機関	0	0.0%
⑦知人・友人	0	0.0%
⑧その他(次の項目で詳細を御記入ください)	1	50.0%

(5) 上記(4)「⑧その他」を選ばれた場合は、詳細を記入ください。

大阪同企連第3グループ雇用学習会の現地研修で7/11訪問

(6) (3)で「②知らない」を選択された方へおたずねします。
 ・知らない理由を教えてください。

(複数選択可)	企業	%
①本校を知らない	3	42.9%
②講座内容がわからない	4	57.1%
③テクノ講座案内が届いていない	1	14.3%
④その他(下記に回答)	1	14.3%

(7) (6)「④その他」を選択された方
 ・積極的に情報収集していない

(8) 障がい者に特化したテクノ講座の必要はありますか。

	企業	%
①必要	1	11.1%
②不必要	3	33.3%
③分からない	4	44.4%

(9) テクノ講座を受講する曜日の希望はありますか。

	企業	%
①平日(昼間)	4	44.4%
②平日(夜間)	0	0.0%
③土曜日	0	0.0%
④日曜日	0	0.0%

(10) 受講してみたい・あればいいと思う講座内容の該当欄に『○』をご記入、具体的な内容やご希望がありましたらご記入してください。

	企業	%
CAD	1	11.1%
Excel・Word	2	22.2%
Power Point	2	22.2%
Access	1	11.1%
事務系その他(Outlook)	1	11.1%
Illustrator	1	11.1%
デザイン系その他(動画制作)	1	11.1%
プログラミング	1	11.1%
ビジネスマナー	1	11.1%
(自由記述) 全国同一の研修を実施の為、eラーニングが主となります。 電話応対に関する講座		

(11) 本校にオーダーメイド講座を依頼する場合、どのような講座がよいかご記入ください。

・障がい者を受け入れる側の管理者向けの研修(障がい理解やケーススタディなど) ・介護福祉士の「初任者研修」があれば良いかなと思います。 ・ビル管理士、ボイラー技士など資格取得向けの講座 ・まだよくわからない ということです ・ありません
--

(12) テクノ講座の時間数や曜日の希望があればご記入ください。

・個々の内容に合わせた時間数が良い。 ・ありません

(13) 本校のテクノ講座に対し、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

・今のところPCを使った作業が少なく、ネット検索ができる程度であれば対応可能なので研修は考えておりません。 ・ありません

(2)①の回答

- ・座学の時間を設定(約月に一度)ど。コミュニケーションについて学び、グループワークやプレゼンを実施)
- ・目や眼鏡に関する専門的な知識、技術を習得する研修
- ・階層別、語学、コンプライアンスなど
- ・アンガーマネジメント研修など
- ・ビジネスマナー、法令順守、人権教育、メンタルヘルス、会社の歴史や経営理念など
- ・人権研修
- ・eラーニング:品質管理全般、法令順守、etc、(食品関連の基礎)
- ・ビジネス、マネジメント、キャリア、英語、ファイナンス等
- ・金融機関窓口業務など

(2)②の回答

- ・管理職向けハラスメント研修
- ・マンパワー、階層別、タスクトレーニング:階層別、OTC:語学なそ
- ・ビジネススキル、PCスキル、各種資格対策など
- ・大阪同企連:人権講座入門編・管理階層、部落解放人権研究所:各種人権講座、他
- ・民間研修企業による講師派遣等
- ・必要に応じて都度講師を探している。